



西有家小学校だより 6号
 校訓 (勤労・勉学・大志)
 学校教育目標 明るく心の美しい子ども

令和5年9月1日
 南島原市立西有家小学校
 TEL 73-6741
 (文責 校長 大古場)



2学期スタート



充実の2学期がやってきた

厳しい残暑が続いていますが、楽しかった夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。子どもたちの日焼けした顔が、充実した夏休みを物語っているようです。またその表情は、少したくましくなったようにも見えます。休み期間中は、各地区での子ども会の活動やラジオ体操の見守りなど、保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。また、先で行われたPTA環境整備作業にもたくさんのご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、夏の代名詞といえば高校野球。この夏も感動のドラマが繰り広げられ、地元チームに関係なく見入ってしまいました。特に私は、9回の攻撃を見るのが好きです。それは、無理だろうと思われる場面での逆転劇もあるからです。最後まで、あきらめない選手たちのひたむきさに時には、感動で涙することさえあります。ところで、試合後監督さんがよく「子どもたちがよく成長してくれました。」といった類いのコメントをされていることがありますが、その成長とはいったい何をもって成長したと言っておられるのでしょうか。おそらく、私が思うには「自信」を得たということではないでしょうか。言い換えれば、甲子園という大舞台で、日頃繰り返してやってきた練習の成果が緊張の中でも発揮されたことで、「やればできる」といった自信を得たということではないかと考えます。自信を得たことが、子どもたちを大きく成長させてくれたのだと思います。

このことは、学校現場の子どもたちにも置き換えることができます。日々の教育活動の学習面や運動面において、「分からなかったこと、できなかったこと」があった時に、あきらめることなく取り組む姿勢を大切にし、日々の小さな積み重ねを繰り返すことで課題克服が可能となっていくます。粘り強く取り組むことで成果が表われ、充実感や満足感を味わうことができます。2学期は、学期の中で一番長い学期です。小さな積み重ねが報われる学期になればと願っています。そのためには学校での見届けはもちろんのこと、家庭での見届けや称賛が子どもを伸ばす一番の原動力になります。自信をつけた子どもたちが大きく成長し伸びていくことは間違いありません。子ども自身が、自分の成長を実感できる2学期になるよう、全職員で精一杯努めてまいります。今学期もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



「お世話になりました」 ～4年ぶりのPTA環境整備作業～

8月27日(日)に4年ぶりとなる「PTA環境整備作業」が実施されました。過去3年間は新型コロナウイルス感染症対策のために中止となっていました。今年度は多数の保護者の方の参加を得て、運動場や校舎周りの除草、剪定作業及び校舎内の窓みがきを行っていただくことができました。また、「おやじの会」のメンバーの方には、運動場側溝の砂上げ作業を汗びっしょりになりながら精力的に行っていただきました。保護者の方々の「子どもたちには、きれいな環境で2学期を迎えさせてあげたい。」という想いや願いがよく伝わりました。大変暑い中に学校環境を美しく整えていただき感謝いたします。本当にありがとうございました。



※(裏面に続きます)

熱中症対策と感染症対策（確認）

学校では下記の対策に全職員で取り組みます。



1 熱中症対策（当分の間）

- 水分補給を確実にに行わせるために、中休みや昼休みに屋外に出る場合や体育、野外活動の時間は水筒を持たせます。（必ず、帽子をかぶらせる）
- 環境省の熱中症予防情報サイト（暑さ指数：WBGT）の活用
 - ・「WBGT28～31未満：嚴重警戒」昼休みの運動場使用や外遊び(20分限定13:10～13:30)
 - ・「WBGT31以上：危険」運動場や中庭での遊びや活動は原則中止
- ※体育の授業も「暑さ指数：WBGT」をもとに「実施」「短縮」「中止」を判断します。
- ※WBGT(Wet Bulb Globu Temperature)とは、人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい「①湿度 ②日射など周辺の熱環境 ③気温」の3つを取り入れた指標のこと。
- 運動後には、気象状況も踏まえつつ、十分にクールダウンするなど体調を整えた上で、その後の活動を行います。
- 登下校中であっても、安全な場所で適切な水分補給ができるように指導します。
- 子ども同士で互いに水分補給や休憩の声かけなどを行うことができるようにします。
- 教室内の授業においても「暑さ指数：WBGT」をもとにエアコン



2 感染症対策

- 毎朝の健康観察は、各家庭で確実にお願いします。
 - マスクの着用は、基本的に個人の判断に委ねます。（但し、感染流行時はマスク着用を促すこともあります。着用を強いることがないようにします。）
 - 気候上、可能な限り、常時換気に努めます。
 - 給食の配食時は当番の子ども以外もマスクを着用させます。準備の際は前後の間隔を開けて並ぶようにします。当分の間は、対面せずに食べるようにします。
- ※登校後に熱中症や感染症の症状が見られた場合は、すぐにご家庭に連絡し、早退手続きをとるようにいたしますので、ご理解をお願いします。

「努力のつぼ」 ～始業式での校長の話より～

本日の始業式では、「努力のつぼ」という、当時小学校1年生の女の子がお母さんから聞いた話を基に書いた作文を紹介しました。

作文の内容は、「人が何かをはじめようとか、今までできなかったことをやろうと思ったとき、神様から「努力のつぼ」をもらいます。そのつぼには、いろいろな大ききがあって、人によって大きい物や小さい物などいろいろあります。そのつぼの大ききは、その人には見えません。でも、そのつぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまっていきます。いつかその「努力」が溢れるとき、何かができるようになる、というのです。だから休まずにつぼの中に「努力」を入れていけば、いつか必ずできる時がくるという、女の子のお母さんからの教で、その子は「また、がんばろう」という気持ちになれる。」というお話です。

目標を達成するためには努力を続けることが大切なのは子どもたちも分かっていることです。しかし、それを難しくさせる原因は、どのくらい努力したらできるようになるのか、はっきりと分からないことです。いくらがんばっても成果が出ないと「もう無理だ」とあきらめてしまいがちです。もしかしたら、あと1回がんばって努力したら、できたかもしれないのに……。努力を続ける勇気を与えてくれるお話なので、子どもたちに届けばいいなと思っています。

※参考：朝日作文コンクール「子どもを変えた親の一言」作文25選（明治図書）小学校1年生の作品より

「教育実習生の紹介」

本日から9月29日（金）までの4週間、教育実習生として「近藤 萌果(こんどう もか)」さんが本校で教育実践をされることになりました。配属学級は、4年2組です。本校の卒業生でもあり、子どもたちとのふれ合いをとても楽しみにしているようです。みなさん、どうぞよろしくをお願いします。

<9月>

- 1日（金） 2学期始業式、給食開始
- 4・5日 全学年5校時まで
- 6日（水） 委員会活動
- 7～8日 夏休み作品展(8:00～18:30)
- 8日（金） 授業参観、学級部会
- 13日（水） 全校朝会
- 15日（金） 普賢岳災害を語り継ぐ日
- 20日（水） クリーン作戦クラブ活動
- 21日（木） 避難訓練
- 29～30日 5年宿泊活動(千々石少年自然の家)



2学期 行事予定

<10月以降>

- 10月3～4日 6年修学旅行(福岡方面)
- 10月27日(金) 秋の遠足
- 11月17日(金) 学習発表会
- 12月 1日(金) 持久走大会
- 12月22日(金) 第2学期終業式



※スクールカウンセラー来校日(10:30～12:30)
9/15、10/19、11/17、12/14
※9月には、全学年で身長・体重測定を実施